PAT-NO:

JP359034924A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 59034924 A

TITLE:

MOUNTING STRUCTURE OF GUIDE RAIL IN AUTOMOBILE

WITH

SLIDABLE DOOR

PUBN-DATE:

February 25, 1984

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TSUCHIYA, YOSHIMASA MINAMI, TATSUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

NISSAN MOTOR CO LTD N/A
NISSAN SHATAI CO LTD N/A

APPL-NO: JP57145844

APPL-DATE: August 23, 1982

INT-CL (IPC): B60J005/06, E05D015/10

US-CL-CURRENT: 296/155

ABSTRACT:

PURPOSE: To increase the strength of members by setting up the

section of a guide rail to a roof side rail and fixing the front end section to

the inner corner section of a fan-shaped rail bracket.

CONSTITUTION: The approximately fan-shaped rail bracket 20 is set up to a

rain hose 12 disposed in the roof side rail 11. The rail bracket 20 is formed

to an approximately fan shape in which one metallic plate is bent and formed in

an approximately "ko" (Japanese: katakana, 2533) - shaped section while the terminal

6/22/05, EAST Version: 2.0.1.4

of one side wall section 20a continues to the other side wall section 20b, and

the side wall section 20a is formed in approximately the same plane and fixed

tightly by bolts 14 screwed from the inside of a compartment. Accordingly, the

member has strength sufficient in the direction orthogonal to the guide rail,

and the slipping-off of a guide roller is prevented.

COPYRIGHT: (C) 1984, JPO& Japio

(19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭59-34924

⑤Int. Cl.³B 60 J 5/06

E 05 D 15/10

識別記号

庁内整理番号 7535—3D 6462—2E **43公開 昭和59年(1984)2月25日**

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

②特

願 昭57-145844

@出

願 昭57(1982)8月23日

@発 明 者 土屋喜政

厚木市岡津古久560-2日産自 動車株式会社テクニカルセンタ 一内

@発明者 南達男

伊勢原市下落合604番地 4号

⑪出 願 人 日産自動車株式会社

横浜市神奈川区宝町2番地

⑪出 願 人 日産車体株式会社

平塚市天沼10番1号

四代 理 人 弁理士 志賀富士弥

明 細 棚

1.発明の名称

スライドドア車における

ガイドレールの取付構造

2.特許請求の範囲

スライドドアを案内支持するガイドレールの取付構造であつて、下面が開口する断面略 C 字状のガイドレールをルーフサイドレールのアウター 個に配散するとともに、ガイドレールの前端部をルーフサイドレール内に臨ませ、このガイドレールの前端部を、ルーフサイドレールの一部に取着され且つコ字状断面を有するレールブラケットの内隅部に止着したことを特徴とするスライドドア車におけるガイドレールの取付構造。

3.発明の詳細な説明

この発明は、スライドドア車におけるガイドレ -- ルの取付構造に関する。

第1図に従来の最も一般的なガイドレールの取付標道を示す。これはルーフサイドレール1のインナー側に、車室内側に張り出すブラケット2を溶接にて固着するとともに、ブラケット2の下面に断面略で字状のアッパーガイドレール8をその閉口面が下になるようにして取労し、このアッパーガイドレール3に対しアーム4に取り付けられたガイドローラ5を保合させているものである。尚、図中6はルーフパネル、7はスライドドアをそれぞれに示す。

ところで、このようなスライドドア車にあつて は、ドア全閉時には該スライドドア 7 を車室内側 へ引き込む必要があることから、スライドドアを

特開昭59-34924(2)

イドレールの前端部における強度の向上を図り、 その開きを防止することを目的としてなされたも ので、この目的のため本発明においては、ガイド レールの前端部を、ルーフサイドレールの一部に 取着され且つコ字状断面を有する略扇形状のレー ルブラケットの内隅部に止着するようにしている。 以下、この発明の実施例を図面に基づいて詳細

以下、 C.の発明の異施例を図面に基づいて詳細に説明する。

すなわち、第3図および第4図はこの発明の一 実施例を示すもので、第3図は第2図に示す如く フロントドアヒンジ式,リアドアスライド式を採 用したセンターピラーレス車の皿ー皿線断面にて、 また第4図は同じく第2図のIV - IV線断面にてそれぞれに例示している。図に示すように、ルーフ サイドレール11内の一部を画成するように散ル

ーフサイドレール11内にレインホース12を配 殴し、このレインホース12に対して略解形状の レールブラケット20を取着してある。このレー ルブラケット20は、第4図および第5図に示す ように一枚の金属板を断面略コ字状に折曲形成し て全体として略扇形状にするとともに、一方の個 壁部20aがその端末において他方の偶壁部20b に連続して怪怪同一平面をなすように構成したも ので、車室内側から螺合されるボルト14にて竪 固に固定されている。

そして、ルーフサイドレール 1 1 の ア ウ タ ー 側に 配設された ア ツ バー ガイドレール 1 3 の 屈 曲 した 前端 部 1 8 • を、 前配 ルーフサイドレール 1 1 の ア ウ ターサイドレール 1 1 内 に 臨ませて、 レールブラケット 2 0 の 内隔 部 に 春接 に て 固定 して あ

る。つまり、レールブラケット20の個盤部20aがその端末において他方の個壁部20bと同一平面をなすよりに構成していることから、側壁部20aにアッパーガイドレール18の側壁部13bを合わせることにより、該側壁部13bのX方向の開きを拘束するようにしている。

尚、図中の18はルーフパネル、17はスライドドア、19はガイドローラ15を有し、かつスライドドア17側のローラブラケット21に連結されたローラアーム、18はドアウエザーストリップである。

しかして以上の構成によれば、アッパーガイド レール13の前端部とりわけその倒壁部18 b が レールブラケット20にて補強されていることか 5、ドア閉時の操作力あるいはドアウエザースト 1

リップ 1 8 の反力等により X 方向の荷重を受けたとしても十分に耐え得ることができることに なる。以上述べたようにこの発明によれば、 X 方向つまりはガイドレールに直交する方向の荷重に対して十分なる強度を有するものであり、 それによつてガイドレールの開き、ひいてはガイドローラの脱落を防止できるという効果がある。

4.図面の簡単な説明

第1図は従来の最も一般的なガイドレールの取付構造を示す断面図、第2図はフロントドアヒンジ式、リアドアスライド式を採用したセンタービラーレス車の個面図、第8図はこの発明の一実施例を示すもので第2図のIV - IV 緑断面矢視図、第5図はレールブラケット20の詳細を示す斜視図で

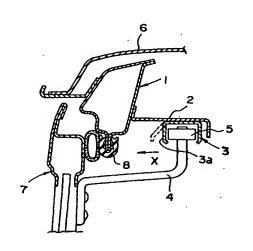
ある。

1 1 … ルーフサイドレール、1 3 … アッパーガイドレール、1 7 … スライドドア、1 8 … ウエザーストリップ、2 0 … レールプラケント。

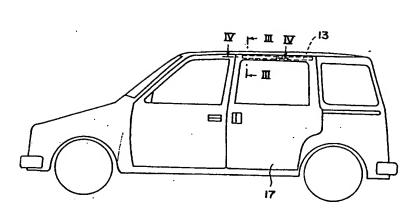
代理人 志 賀 窩 士



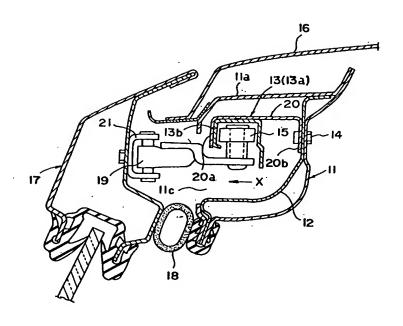
第1日



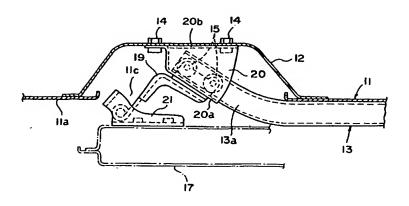
第 2 図



第3図



第 4 図



第 5 図

